

計算書に関する注記

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準について

退職給与引当金は期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

(2) 資金の範囲について

資金の範囲については、現金及び預金・前払金・未収金及び仮払金並びに未払金及び預り金を含めている。尚、前期末及び当期末残高は下記3に記載するとおりである

(3) 消費税の会計処理については、税込み経理方式を採用している。

2. 基本財産の増減額及びその残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金特定預金	27,601,612	1,250,000	0	28,851,612
敷 金	1,000,000		0	1,000,000
合 計	28,601,612	1,250,000	0	29,851,612

3. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金及び預金	1,496,113	825,221
前払金	195,351	203,146
未収金	0	0
仮払金	0	0
立替金	0	0
合 計	1,691,464	1,028,367
未払金	57,752	104,984
預り金	70,932	66,570
合 計	128,684	171,554
次期繰越収支差額	1,562,780	856,813